

令和3年度事業活動の概要報告

当財団の令和3年度（令和3年4月1日～令和4年3月31日）の事業報告及び財務諸表につきましては、令和4年6月7日に開催された理事会及び6月28日に開催された評議員会において監査報告書を含めて報告・承認されました。

当財団をご支援くださる皆様方に財団の活動内容をご理解いただきたく、ホームページ上でも、(1) 学術交流促進・学術成果公開助成事業（学術交流の促進と学術成果の公開に係る助成事業）、(2) 教育の充実助成事業（教育の充実に係る助成事業）、(3) 学術交流施設（「ロイ・スミス館」）の維持管理事業という当財団が行う主要な事業別にその概要について、財務諸表（貸借対照表と正味財産増減計算書）の要旨と併せてご報告させていただきます。

令和3年度では、学術交流の促進と学術成果の公開、教育の充実に係る助成事業を継続して実施すべく事業計画を立てていましたが、前年度に続き、新型コロナウイルス感染拡大の防止の観点から教員、学生に対する様々な活動が制限され、教員の海外派遣支援、国外でのシンポジウム開催支援、学生の海外派遣支援等の事業については計画どおりには実施できませんでした。なお、教員の海外派遣支援で実施できなかった分については、令和4年度に繰り越して実施することにしました。

学生の大学内入構が制限される中、「キャリア形成支援」（六甲台就職相談センター支援）は、Web面談と並行して対面での面談を実施しました。また、凌霜出身者の講師による寄附講義「社会科学の実践」（学部1，2年生対象）は、授業が受けやすいように対面及びオンラインのハイブリッド方式で実施するなど、例年とは異なる環境での実施となりました。

毎年、ご報告しております科学研究費獲得を推進するための「研究プロジェクト支援」事業において1件を助成した結果、1件が令和4年度科学研究費の補助金交付内定を受けたことをご報告いたします。

今後とも、本財団に対して、従前と同様のご協力とご支援を賜わることをお願い申し上げます。

以上

事業報告の概要

（金額は千円未満四捨五入）

1 学術交流促進・学術成果公開助成事業	11,950千円
1-1 学術交流の促進	10,750千円
(1) 海外研究活動支援（海外研究活動や海外学会派遣等への支援）	5,800千円
○経営学研究科	(2,500千円)
・TONGURAI JITTIMA 教授（令和3年4月～令和4年3月、タイ）	
目的：環境金融（グリーン・ファイナンス）と持続可能な開発	

一 日本と東南アジアの新興市場国からのエビデンス

○法学研究科 (3,300 千円)

- ・東條明德教授 (令和3年11月～令和5年9月、イタリア)
目的：イタリア刑法学の歴史的・比較法的研究 ―実行の着手論を中心に
- ・簗原俊洋教授 (令和3年9月～令和3年10月、オランダ)
目的：セオドア・ローズヴェルトと日米関係

(2) 学会・シンポジウム等開催支援 4,950 千円

○経営学研究科 (2,000 千円)

- ・「プレMBAの知的武装」刊行記念シンポジウム
期 間 令和3年8月22日
場 所 ブリーゼプラザホテル (梅田)
- ・「経営学の開拓者たち」刊行記念シンポジウム
期 間 令和3年11月28日
場 所 ANAクラウンザホテル神戸

○国際協力研究科 (2,600 千円)

- ・「南極研究科学委員会(Scientific Committee on Antarctic Research)
人文社会科学常設委員会(Standing Committee on the Humanities
& Social Sciences)学術研究大会を中心とした極域関係国際シンポジウム
期 間 令和3年11月18日～11月23日
場 所 神戸大学 (対面とオンライン併用)

○経済経営研究所 (350 千円)

- ・The 12th International Conference of THE JAPANESE
ACCOUNTING REVIEW
期 間 令和3年11月6日
場 所 神戸大学 (オンライン開催)

1 - 2 学術成果の公開 1,200 千円

(1) 学術研究成果刊行支援 1,200 千円

○ 経済経営研究所 (1,200 千円)

- ・神谷和也 著 「マイナス金利とコロナ禍の環境の下での地域金融機関の経営
の現状と課題―逆境をいかに乗り越えるか―」 中央経済社

2 教育の充実助成事業 8,107 千円

(1) 社会科学特別奨励賞 (学部) 922 千円
経済学部・経営学部・法学部の学部学生 (2年生～4年生) の成績最優秀者へ
の奨学金支給

(2) 六甲台賞 316 千円

経済学部・経営学部・法学部卒業生の成績最優秀者へ授与

(3) MBA 加護野忠男論文賞 210 千円

当該年度に発表された神戸大学 MBA 全論文の内、特に優れ論文へ授与

(4) 相互履修科目開講支援 1,119 千円

他学部学生向け増設専門講義科目

経済学部：エッセンシャル・ミクロ経済学、エッセンシャル・マクロ経済学

経営学部：エッセンシャル経営学、エッセンシャル会計学

法 学 部：エッセンシャル民法、エッセンシャル商法

(5) 久研究奨学基金による IFEEK 生の大学院進学助成 600 千円

(6) 学部学生に対する支援 2,370 千円

・経済学部教育プログラム経費

・学部共通講義教材経費（凌霜会・六甲台後援会寄附講義）

・キャリア形成教育経費

(7) 大学院学生に対する支援 2,570 千円

・経済学研究科教育プログラム経費

・法学研究科教育プログラム経費

・法学研究科エクスターンシップ実施経費

3 学術研究助成事業 4,000 千円

(1) 研究プロジェクト支援 300 千円

○法学研究科

・手嶋 豊教授

少子高齢化社会福祉システムの多文化化・スマート化・包括化

に関する国際比較研究

(2) 社会システムイノベーションセンター（社会科学系研究分野）支援 . . . 2,000 千円

・部門活動支援費

(3) 襄山研究奨学基金による学術研究に対する支援 500 千円

(4) 経営学研究科 1,200 千円

・NPM 関連データサービス

4 事業費付帯経費 12,517 千円